**７時間で理解するコンピュータ自作実習**

６時限目　―Linuxの基本的なコマンドと操作―

**○Linuxのディレクトリについて理解しよう**

Linuxでは、システム上のすべての（　ディレクトリ　）を、1つのツリーで管理している。その頂点にあるのが（　ルートディレクトリ　）であり、パスは（　**/**　：　ルート　）で表す。このルート・ディレクトリの下には、（　サブディレクトリ　）が作られて階層化されている。

カレント・ディレクトリは、現在の作業場所を表し、カレント・ディレクトリを基準にした「相対パス」で表すケースが一般的で、（　**./**　）記号で表す。カレント・ディレクトリの1つ上の階層のディレクトリは（　**../**　）記号で表し、例えばカレント・ディレクトリが「/home/taro」の場合、「/home/hanako」ディレクトリは（　**../hanako**　）で表すことができる。

⇒CHECK!!□【演習】

ルートディレクトリ直下にどのような名称のフォルダがあるか、またフォルダ内にはどのようなファイルがあるか確認してみよう。

**○基本的なコマンドと操作を覚えよう**

**１　（　pwd　）コマンド：現在のディレクトリの位置を知る処理**

⇒CHECK!!□【演習】現在のディレクトリの位置を確認してみよう。

**２　（　cd　）コマンド：現ディレクトリから指定したディレクトリへ移動する処理**

　⇒CHECK!!□【演習】ディレクトリを移動して、pwdで現在のディレクトリを確認してみよう。

**３　（　ls　）コマンド：指定した場所にあるファイルとフォルダを一覧表示する処理**

⇒CHECK!!□【演習】ディレクトリを移動して、ディレクトリ内を一覧表示してみよう。

**４　（　cat　）コマンド：テキストファイルの中身を表示する処理（本来の処理は連結）**

⇒CHECK!!□【演習】指示されたテキストファイルの中身を表示してみよう。

**５　（　cp　）コマンド：複製（コピー）を行う処理**

⇒CHECK!!□【演習】指定されたテキストファイルを新しいファイルとしてコピーしてみよう。

**６　（　mkdir　）コマンド：新しいディレクトリを作成する処理**

⇒CHECK!!□【演習】新しいディレクトリを作成してみよう。

**７　（　mv　）コマンド：移動、名前の変更を行う処理**

⇒CHECK!!□【演習】テキストファイルのディレクトリを移動し、名前を変更してみよう。

**８　（　rm　）コマンド：指定したファイルを削除する処理**

⇒CHECK!!□【演習】移動したテキストファイルを削除してみよう。

**９　（　rmdir　）コマンド：ディレクトリを削除する処理**

⇒CHECK!!□【演習】新しく作成したディレクトリを削除してみよう。

**１０（　su　）コマンド：ユーザを切り替える処理（ユーザを指定しない場合はroot）**

⇒CHECK!!□【演習】rootユーザに切り替えてみよう。